

あしや 市議会 だより

2026年5月 No.136

HEART & SMILE



潮見中学校女子 バスケットボール部

私たちは、仲間や先生、保護者の方々から応援され、信頼される人へと成長できるように活動しています。私たちの世代で最後となる部活動ですが、プレーや技術面の向上だけでなく、人として大きく成長し、夏の総合体育大会で市内大会優勝、阪神大会で1勝できるように最後まで日々練習してきたことを出し切りたいと思います。

●注目の議案をPick up ●令和8年度予算～新年度事業を問う～ ●総括質問

芦屋市議会は、市民の皆さまにより分かりやすく、親しまれる議会だよりを目指しています。
ぜひ皆さまのご意見をお聞かせください。

注目の議案

令和8年
3月定例会
2月17日～
3月24日
(36日間)

3月定例会では全部で47件(市長提出議案…44件、議員提出議案…3件)の議案等が審議されました。今号では、この中から5つの項目をピックアップして紹介します。

Pick up1

(第16号議案)
**総合計画の基本構想の一部改定
および後期基本計画の策定**

可決
(全員一致)

委員会での質疑



第16号議案

【内容】
現行の第5次芦屋市総合計画前期基本計画の期間が終了することに伴い、基本構想の一部改定を行うとともに、令和8年度から12年度までの後期基本計画を新たに定めるもの

■基本構想の一部改定

後期基本計画において重視する3つの要素として、「学び」、「文化」、「協働」を各種施策に共通する観点として位置付けるもの



■後期基本計画の策定

前期基本計画に引き続き、「子育て・教育」、「福祉健康」、「市民生活」、「安全安心」、「都市基盤」、「行政経営」の6分野に分けたうえで、13の施策目標を定め、前期基本計画期間での取り組みを踏まえた施策目標ごとの見直しを行ったもの

注目の議案

Pick up2

(第19号議案)
使用済みGIGAスクール端末等の処分

可決
(全員一致)

委員会での質疑



第19号議案

【内容】
小中学校で使用していたGIGAスクール端末(学習者用・指導者用タブレット端末)の更新により、不要となった端末を1台当たり7535円で処分するもの

委員会での質疑

議員 売却予定金額(4923万3690円)の妥当性は?

教委 公平性を保ちながら少しでも高額で売却する必要があるが、回収された端末の適切な処理やデータ消去完了証明書の発行手続に要する費用等を総合的に判断すると妥当な金額である。

議員 今後の端末の処分サイクルは?

教委 OSのサポート期限も見据え、5年程度を目安に繰り返ししていくことになる。

議員 仕様書の受託条件では「前年度の処分実績が本件処分台数を上回る」としているが、当該条件を満たせるのは大手企業のみになってしまっているのではないかと懸念している。

教委 当該条件を満たさず辞退された業者はあったものの、端末の処分は前例のないことであり、国の通知に基づく適切な処分のために必要な条件である。

注目の議案

Pick up3

(第43号議案)
**小中学校体育館の空調設備設置工事に
請負変更契約の締結**

可決
(全員一致)

委員会での質疑



第43号議案

議員 後期基本計画の策定に当たり、特に配慮した点は?

市 できる限り多くのさまざまなチャンネルで市民の意見を聴取して策定に取り組んだ。

議員 後期基本計画の施策目標の中に市の責務が明示されているが、前期基本計画からどのような変化があったのか。

市 市民同士の活動を応援することも、行政が主体となって市民を巻き込んでいくことも両方を大切にしており、前期基本計画から大きな変更はないと考えている。

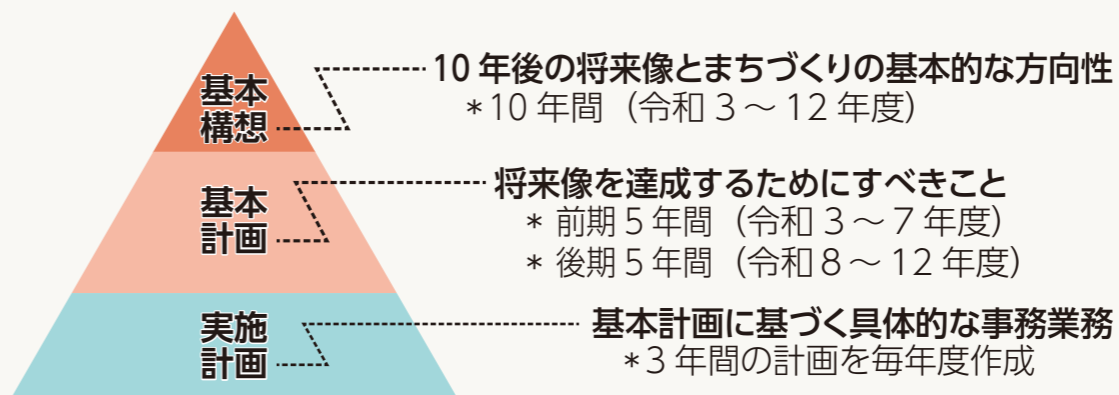
議員 後期基本計画の周知についての考えは?

市 職員に向けては研修を行い、市民に向けては広報紙やホームページに加えて、対面での周知活動も実施していく。

議員 協働における市民の「責務」という文言の意図は?

市 住民自治の観点から住民の参加も必要であるため、市民参画条例に基づく表現を用いた。

総合計画の3層構造



委員会での質疑

議員 空調室外機の変更後の設置場所の検討過程は?

教委 設計段階から児童の動線や学校運営への影響、体育館との距離などを考慮しながら検討してきたが、工事中により適した場所がないか検討を継続した結果、メンテナンス性や学校運営への影響等を踏まえ、今回変更する場所の方がより適していると判断した。

議員 変更後のLPガスボンベの容器収納庫の安全性は?

教委 LPガスボンベの安全な保管の観点から既製品を採用している。



設置された空調設備

Pick up4
**令和7年度
 病院事業会計
 補正予算を可決**
可決
 (全員一致)

【内容】
 患者数および診療単価の見直しにより病院事業収益を減額するほか、職員数および患者数の減少に伴い病院事業費用についても減額するもの。また、営業運転資金に充てるため、一般会計からの長期借入金で3億8000万円、企業債を2億円追加するもの。

委員会での質疑

- 議員** 病院としての現時点の経営状況や今後の見込みは？
- 病院** 診療報酬改定の効果はまだ不明であり、業務改善も即効性があるわけではないため、その成果を見守る必要がある。医師の増加などのプラス要素もあるため、今後は改善していけると考えている。
- 議員** 長期借入金の今後の見通しは？
- 病院** 経営強化プランの収支計画では、令和12年度までは毎年1億円から1億5000万円程度の借入れが必要となる状況である。可能な限り長期借入金の額を減らし、国の制度も活用して資金調達を進め、それでも資金が不足すれば市と協議して対応する。

- 議員** 市の政策判断として、地域医療の拠点としての声屋病院を今後も支えていくのか。
- 市** 病院は大切だと考えており、引き続き経営努力をしてもらい、市としては繰り出しや貸付けなどの協議を誠実に進め、状況をしっかりと見ていく。
- 議員** この1年間で具体的に力を入れた情報発信の内容は？
- 病院** ホームページをリニューアルしたほか、コロナ禍前まで毎年開催していたホスピタルフェスタを復活させ、地域住民に病院の活動を知ってもらう機会をつくった。さらに、インスタグラムを始める予定であり、院内の協力を得ながらその更新を進めていきたい。

【病院に対する意見・要望など】
 目に留まる広報は非常に重要である。今後もお知らせだけの広報活動にとどまらず、経営戦略の一つという視点も持って、選ばれる病院づくりを目指してほしい。



Pick up5
**権利の放棄
 消防団条例の
 一部改正**
可決
 (全員一致)

【内容】
 在団資格※を失った状態で報酬を受領していた団員6名に対し、実質的な活動状況を考慮して報酬の返還請求権を放棄するもの。

※消防団員は、市内に住所を有しなくなったとき、または市内の事務所もしくは事業所に勤務しなくなったときは、在団資格を失う。

委員会での質疑

- 議員** 今回の事案が通報によって判明していることは大きな問題である。今回の事案以前にも不当利得を受け取っている者はいないのか。
- 市** 通報を受けるまでは調査を行っていないかったため、同様の事案があった可能性は否定できないが、過去に遡って調査することは困難である。
- 議員** 在団資格を失った団員がいる状態が長年続いた理由と責任の所在は？



第18号議案

- 市** 入団時の説明が不足していたことから、団員の在団資格の条件に対する認識が曖昧になっていた。市の管理不足が大きな要因であり、組織的な責任として重く受け止めている。
- 議員** 団員が条例の内容を知ることができなかったのか。
- 市** 消防団に関する条例等を掲載した団員必携を過去には個人ごとに配布しており、現在は各分団の詰所に1冊ずつ置いており、現在入団時に内容の説明ができていなかったため、今後は周知徹底を図っていきたい。
- 議員** 仮に在団資格を失った団員に対し、支払った報酬の返還を求めような対応をした場合の消防団の士気についてはどのように考えているのか。
- 市** 本市の安心安全のために真摯に活動してくれた6名に対して返還請求を行うことは、在団している団員の士気を下げることになると大変懸念しており、現在、希薄化している消防団員の確保にもつながらる問題であることから、不当利得返還請求権の放棄という判断をした。併せて、環境整備という形で消防団の支援を行うため、条例改正の提案をしている。
- 議員** 団員の名簿の管理や更新の状況は？
- 市** 入団時に申請された情報を基に全団員の名簿一覧を作成しており、団員からの自己申告による住所等の変更の申請があった場合に更新している。

- 議員** 再発防止策としての新たな取り組みは？
- 市** 全団員に対して在団資格等を記載した文書の発出や全体調査を定期的に行う。また、コンプライアンス研修の実施を検討している。



消防団の訓練活動

消防団条例の一部改正について

【内容】
 入団要件および分限規定※の緩和により消防団員を確保しようとするもの。

※入団時の年齢上限(50歳未満)を廃止し、市内に住所を有せず、かつ市内の事務所等に勤務しなくなった場合であっても、団長が職務の遂行に支障がないと認めるときは、在団資格を失わないこととするもの。

委員会での質疑

- 議員** 入団要件の年齢上限を廃止する理由は？
- 市** 団長から要望があり、また、阪神間各市で年齢上限を設けているのが本市を含む2市だけであることや近年の50歳以上の方の健康状態を勘案し、知識と経験が豊富な方の活躍を期待するものである。
- 議員** 分限規定の緩和に関して団長の裁量とするのは曖昧ではないのか。
- 市** 徒歩にて1時間圏内という即応体制が確保できることを大前提として、今後、指針を作成し、判断基準としていきたい。



第8号議案

両議案は、2月20日に委員会でも質疑を行いました。十分な審査を行うために、一旦、審査を保留し、3月6日に改めて質疑と採決を行いました。



令和8年度(2026年度) 予算が成立しました



予算の概要

予算案の審査が全議員で構成する予算特別委員会の各分科会(総務・民生文教・建設公営企業)で行われました。分科会では、行財政運営、市民生活、保健福祉、まちづくりなどの予算に関して、活発な質疑応答がなされ、多くの意見・要望が出されました。

新年度事業を問う! ~予算審査での意見・要望(抜粋)~

のびのび学級の開室時間を延長

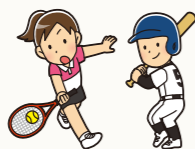
1,590万8千円(事業費全体)

- 午後の運営時間を1時間延長し、カリキュラムを充実させることは評価する一方で、小学生の利用は保護者の送り迎えが必須であるなど、まだまだ課題は残されている。また、学校や地域から孤立しがちな保護者同士が集まる場や児童生徒の放課後の過ごし方なども併せて検討してほしい。

中学生が地域クラブに参加

4,804万円

- 従来の部活動と比較して参加費が増加するため、減免措置や参加費の上限額の設定、参加費の助成の拡充を強く求める。
- 地域クラブになったとはいえ、学校教育の一環であるという位置づけを指導者に徹底することを強く求める。
- 統括業務はきちんと知見を備えた業者に委託し、地域クラブからの相談に対してしっかり判断ができる窓口とするとともに、会費の公費負担を検討することや性被害対策を十分に講じることを求める。



国指定史跡会下山遺跡保存活用計画の策定

1,164万2千円

- 国史跡指定15周年記念フォーラムを通じて、全国的に見ても貴重な弥生時代の高地性集落跡である会下山遺跡の魅力の発信を求める。

生徒指導対策経費

7,169万4千円

- いじめの重大事案が小中学校合わせて8件に上っている。いじめや不登校の根本的な原因の追究を強く求める。
- 「いじめ撲滅メッセージ」を市と教育委員会が出し、そのことを児童生徒・保護者はもとより、地域や市民に向けて発信するよう求める。

高齢者バス運賃助成事業・はんきゅうブランドバス70購入代金助成

9,870万4千円

- 高齢者の介護予防のための外出支援の移動手段として長年行ってきた事業内容を変更する際には、高齢者の実情に合わせた移動手段の在り方を丁寧に分析し、バスによる移動だけではなく、小回りの利く車による移動などの検討を柔軟に行うべきではないか。

終活相談事業を開始

500万円

- 同じような悩みを抱えている人も多いと思われるため、実際に受けた相談内容のホームページへの掲載を求める。
- 新たな事業の開始を評価したい。「終活」の言葉について、公募なども含め、新たなネーミングを考えることを要望する。

救急業務関係経費

5,299万円

- 救急車の出場件数が年間6,000件近い中、さらなる生存率や社会復帰率の向上に向け、現場到着時間や病院への収容時間の短縮・適正化に向けた取り組みを求める。

地域防災推進事業補助金の対象にマンションを追加

200万円

- 自主防災組織のないマンションも補助金の支給対象となり、防災支援が行われることを評価する。市内のマンションに対してこの事業の周知を求めるとともに、マンション防災へのさらなる取り組みを求める。

プラスチック分別収集の取り組みを進めるための調査・検討

847万1千円

- プラスチックの分別については令和8年度に検討するとしているが、最終的に焼却するのか製品へのリサイクルを目指すのかなど、本市としてどこまでの分別目標があるのかビジョンが見えない。



パイプライン施設の代替収集案に係る実証実験

1,866万5千円

- パイプライン施設の代替収集について、住宅形態ごとの適正なごみ収集方法のルール化の徹底を要望する。
- パイプライン停止時の住民への影響を鑑みたまち全体の課題を共有し、特に高齢者に配慮した対策を早期に検討することを求める。

交通安全推進に要する経費

1,012万5千円

- 令和8年4月から自転車の交通違反に対して青切符による反則金制度が始まる。また、車道にある矢羽根をすることで危険を伴う箇所がある。整備を含め、市民への交通ルールの周知啓発により混乱を招かないよう求める。

生成AIのさらなる業務活用と基盤整備を見据えた業務再構築

770万3千円

- 生成AIの進化は早く、週が変われば革新が起きる。単独の生成AIのプログラムに固執するのではなく、生成AI技術全体を俯瞰して活用を検討してほしい。
- 生成AIの利活用と併せて利用する職員の育成、特に利用する生成AIの特性に応じた言語のプロンプトを理解できるような利用に着目した育成に努めるよう求める。



下水道事業ウォーターPPP※ 発注支援業務

3,900万円(令和9年度までの限度額)

- 下水道事業におけるPPPについては契約期間が原則10年と長期にわたるため、事業者の安定性を見極める力が求められる。市民サービスへの影響、財政負担、組織体制などさまざまな観点から判断することが重要である。
- 「ウォーター PPPに参入意思を示さないなら交付金措置はしない」との国の方針が事実なら、その進め方は地域主権の自治を脅かす暴挙と捉えざるを得ない。本市は市域や住民の数が小規模であり、PPPによるスケールメリットが小さく、同制度により期待するような効果が得られるか疑問を感じる。交付金を捨てて直営で実施する選択肢も残した上で検討してほしい。

※ウォーターPPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)とは、水道や下水道事業を行政と民間が連携して行うことにより民間の創意工夫等を活用し、行政の効率化等を図ること。



予算に対して会派から一言

あしや政風会

3年が経過する高島市政にとって、現場に届く実効性が問われる予算である。重点施策の教育分野では、教育現場の負担軽減や子どもたちが安心して学べる環境づくりへの配慮を評価する。子育て世代への支援に加え、市民生活に目を向けた持続可能な制度設計にも期待したい。一方、物価高騰や激変する世界情勢による財政への影響は見通せず、行財政改革の着実な進展が不可欠である。限られた財源の中で優先順位を明確にし、市民に成果が見える不断の予算執行を求める。

公明党

会派としてこれまで訴えてきた内容が一定反映されたと評価する。重点支援地方交付金による上下水道基本料金の減免は市民生活を守る施策として評価する。行政のデジタル化については高齢者などの不慣れな方への丁寧な対応を求める。プラスチックの分別収集は重要であり周知と理解の促進を求める。道路公園施設包括管理業務委託では市内事業者の参画の促進を求める。多額の事業費を伴うJR芦屋駅南地区再開発事業を踏まえ、より一層慎重な財政運営を求める。

至誠会

団塊世代が70代後半を迎え、介護保険と後期高齢者医療事業の予算額、目的別では民生費が過去最高額を更新し、高齢化の進展の影響が予算編成に表れている。市長は若者施策の発信は強いが、高齢者施策の充実と適正化にも期待する。今まで以上に市民生活に寄り添った予算執行を求める。国際関係は緊張感を増し、物価高の長期化により市民生活は一層厳しくなり、自治体財政への影響も不可避である。事業の必要性を見極め、総花的になることなく足元を固めた行財政運営に努めてほしい。

日本共産党

上下水道基本料金の4カ月分の減免や平和行政への取り組みなどを評価しているが、給食費の保護者負担を残したままの軽減や、高齢者バス運賃助成の改悪には疑問がある。原則「教育は無償」であるほか、そもそも子育て世帯や高齢者が物価高騰の中でどのような生活状況なのかに思いをはせて政策判断をしてほしい。また、道路・公園・街路樹の包括管理業務委託では、今まで芦屋の景観を守ってきた市内造園業者との信頼関係が崩れたままである。選定方法も含め反省と見直しが必要ではないか。

日本維新の会

市民生活や都市基盤、子育て・教育など各分野に必要な取り組みが着実に盛り込まれている点は評価する。将来の財政需要を見据えた持続可能性に配慮した予算編成となっている点についても一定の妥当性が認められる。一方で、予算規模の拡大に対する懸念や個別事業への指摘があることも理解するが、社会環境の変化や将来を見据えた施策は必要不可欠である。引き続き慎重かつ計画的な財政運営を徹底し、改革の視点を持ってより一層踏み込んだ行政運営に臨むことを強く求める。

その他の主な事業

- ◆ こども誰でも通園制度の開始
- ◆ 産婦健康診査費用の助成
- ◆ 探究的な学び研究推進チーム「ONE STEPpers」による授業研究の推進
- ◆ 小学校給食費の抜本的な負担軽減、市立中学校での給食提供回数増加
- ◆ 市立学校に教頭業務サポーターを配置
- ◆ 防火水槽の更新工事を実施
- ◆ 阪神芦屋駅周辺の都市機能の課題解消と更新に関する調査・検討
- ◆ 乗合タクシーの試験的運行の継続・検証、他地域への導入可能性の検討など

総括質問



議会中継

詳細は市議会ホームページ「議会中継」をご覧ください。

3月定例会では、各会派の代表者が市長の施政方針に対して総括質問を行っています。今回は3月2日・3月3日の2日間に5会派の代表者が質問をしました。

あしや政風会

質問者：川上 あさえ

教育について

議員 いじめ根絶に向けた明確なメッセージを出すことはできないのか。いじめ対策の一環としての弁護士による授業の狙いは？

市 いじめは絶対に許されないと、いかなるいじめも看過せず、相談にはどこにも寄り添い丁寧に対応する。**教委** 弁護士によるいじめ予防授業は、いじめの定義や構造を学び、いじめに直面したときにどのような行動を取るべきか、法的視点も交えながら考え、自らの判断と行動につなげることを目的とした取り組みである。

議員 特別支援学級等のこともたちに対するキャリア教育の方針は？

教委 体系的な教育として設計し、社会的・職業的自立に向け、個別の教育指導計画で自立活動を設定している。また、さまざまな職業の方を招いた授業や児童生徒たちが計画を立て校外に出向く活動なども行っている。

母語教室について

議員 公費による中国語などの母語教室は特定の言語に限定した支援であり公平性を欠く。多文化共生は日本語の習得など普遍的な支援を重視すべきでは？

市 日本語教育の推進に関する法律等に基づき、母語で言葉の力を身につけることが日本語のより効率的な習得につながるとして、令和8年度も英語と中国語を対象に継続して実施予定である。他言語を対象にした実施はニーズや講師の状況などに応じて適宜判断していく。

福祉について

議員 終活支援事業では相談機能以外の死後事務の支援など包括的な支援制度へ発展させる考えはあるのか。また、親亡き後の障がい者等も対象とするのか。

市 権利擁護支援における今後の発展的展開の一つの手段として捉えている。対象は身寄りのない高齢者に限定せず、障がいのある人やその家族も含め、支援が必要な人に幅広く対応していく。

日本維新の会

質問者：橋本 隆

国際化の懸念について

議員 国際文化住宅都市を宣言する本市の懸念はないのか。**市** 外国人に関する報道等の影響で不安の声があるが、生活習慣の違いによる相談には通訳を併し説明し、ルールを周知していく。

教育課題について

議員 体力的に厳しい低学年や悪天候時などを考慮し、スクールバス等の通学環境の整備を求める。

教委 通学環境の地域差は認識しているが、国の基準等を踏まえ、スクールバス導入は考えていない。また、一定条件下でも自家用車での送迎は安全な駐車場所がなく困難である。

議員 給食の完全無償化により保護者負担額の請求に係るコストを廃止することができ、市も市民も助かるのではないのか。**教委** 質の高い給食を維持するため、国の交付金との差額分を保護者に負担してもらうものである。

議員 部活動地域クラブの費用を他市同様に補助すべきでは？**教委** 中学校施設の無償活用など各地域クラブには低廉な会費設定に努めていきたい。経済的困窮世帯の生徒への補助は行いが、現時点では一律補助は考えていない。

障がい者支援について

議員 日常の尊厳と自立を支える生活のパートナーとなる盲導犬や介助犬の導入支援等を後押しできないか。

市 同行支援などの介護給付があるため、盲導犬等に関する補助の考えはないが、広報などを通じて周知啓発を続ける。



障がい者の生活を支える盲導犬

都市再建と拠点強化の課題について

議員 芦屋病院の累積欠損額が135億円に達し抜本的な経営再建が必要だが、最大の課題は何か。

病院 病院経営における大きな課題として①入院収益の改善、②医師の確保、③人件費、④病床の機能分化が挙げられる。一朝一夕に解決できないが改善につなげていく。

議員 市役所北館更新の際は駅周辺の都市機能の改善と併せて考え、JR周辺に匹敵するにぎわいを実現してほしいがどうか。

市 本庁舎北館の具体的な検討を行う際は駅周辺の課題解決と併せて関係者と連携し進めていく。

至誠会

質問者：寺前 尊文

高齢福祉と芦屋病院の経営について

議員 認知症の進行は当事者だけでなく、家族にとっても深刻な課題である。神戸大学と協力した認知症予防に期待するが、事業内容は？

市 神戸大学と認知症予防の方向性が一致したため協定を締結した。認知症予防に加え、正しい理解の促進など地域共生に関する講演会の開催などを通じて、認知症施策のさらなる充実を図る。

議員 全国の公立病院が経営危機に瀕する中、芦屋病院も例外でない。長期貸し付けを受ける状況が続き、患者数の減少傾向は看過できない。経営再建に向けた決意を伺う。

病院 経営再建は一つの取り組みだけでは改善できないため、①救急体制の強化、②リハビリ体制の充実、③病床機能の検討、④外来機能の検討という4つのワーキンググループを立ち上げ、組み合わせることで経営再建を進めていく。

学校給食無償化を受けて

議員 小学校給食の無償化が全国で実施される中、本市が完全無償化を見送った判断に賛同する。芦屋ブランドである学校給食を高い水準で維持するには一定の負担は必要である。1食24円は安価に思えるが算定根拠は？

教委 国の補助金額から食材費を差し引いた不足分の約1740万円を、延べ喫食回数の約73万回で割り、1食24円と算出した。

議員 中学校給食の喫食回数増加を求める声が多い。令和8年度の取り組みは？

教委 それぞれの学校において、どの時期に何回増やすかの検討を進めているところである。



子どもにとって給食は至福の時間、保護者負担を惜しまない声も多い。(AI作成画像)

日本共産党

質問者：川島 あゆみ

福祉施策の改悪について

議員 高いと言われる国民健康保険料等に、国が4月から子ども子育て支援金を上乗せして徴収することに對する市の見解は？

市 国において議論の上で将来のこともたちや子育て世帯を支えるために創設された制度であると認識している。全世帯の保険料に反映されるため、新たな負担となるが、必要性は一定理解できると考えている。

議員 高齢者バス運賃助成制度の変更は、はんきゅうブランドバス70を買う余裕のある高齢者にはいいが、乗車回数が少ない高齢者にとっては単なる制度の改悪では？

市 事業当初の想定より費用が増加したことから、市民アンケートや説明会での対話を踏まえ、助成割合を見直した。新たにはんきゅうブランドバス70の購入代金の助成を開始し、高齢者の外出促進という事業目的を維持しながら持続可能な制度にした。

道路公園施設包括管理業務委託について

議員 業務開始から1年が経つが、現受託者は市内企業の活用を8割にする提案しながら、実際には5割にも届いていない。契約解除も含めて見直しが必要では？

市 仕様書では、受託者が改善措置を講じない場合や今後改善が見込まれないと判断される場合などに契約解除が可能としている。しかし、現状はより効率的で効果的な運用となっているため、契約を見直し、従前の2つの業務に戻すことは考えていない。

議員 応募時に提出が必要とされていた市内企業の協力表明書を、市が不自然に募集期間の途中で条件緩和をしたのはなぜか。

市 応募事業者からの協力表明書に関する質問に対しては応募時点で予定している場合に提出を求めるものであり、受託後に協力企業として加えることは問題ないという回答している。

公明党

質問者：西村 まさと

道路公園施設包括管理業務委託について

議員 受託者は市内業者の活用を80%以上と提案しているが、令和8年1月時点では35者中19者の約54%にとどまっている。特に植栽管理において市内業者の活用が不十分だが、この体制で適正な業務の実施は可能なのか。

市 令和7年度の業務実施については、年度前半の作業に当たって、仕様書や注意事項を確認し、認識をすり合わせる調整会議を受託者、協力業者と共に開催してきた。その後も継続的に調整会議を開催し、手直しが必要だった内容や市民の声を共有したことで、年度後半の作業では改善が図られている。

市民から意見や要望をもらった際には適宜、現場確認と対応を行っており、維持管理は適切に行われている。

プラスチック分別収集の導入について

議員 プラスチック分別収集の実施時期について、いつ頃の導入を検討しているのか。

市 施設整備の進捗に合わせて再資源化方法や敷地の確保などを再検討しており、施設完成予定から3年前倒しの令和12年4月の開始を想定している。

議員 一定期間の試行や段階的実施も検討すべきと考えますが市の見解は？

市 令和10年度以降に一部地域でのモデル事業実施を想定しており、課題抽出や解決策の検討を経て最適な仕組みを固め、市民への十分な広報や周知啓発の期間を設けながら確実に開始できるよう取り組んでいく。

電子投票の導入について

議員 令和7年9月議会で前向きな答弁があった電子投票の導入について、令和8年度予算に費用が計上されていないのはなぜか。

市 電子投票の導入は無効票等を減らすために有効な対応策の一つであるが、同時期に行われる県議会議員選挙と投票方法が異なるため、選挙管理委員会との協議において有権者の混乱や高額な費用の発生等の懸念が払拭できなかったため、次期選挙への導入は見送った。

行政視察を行いました

議会運営委員会

東京都墨田区議会・茨城県取手市議会

1月22日～23日

墨田区議会および取手市議会では、いずれも「オンラインによる一般質問、委員会運営等」について視察を行いました。オンラインによる一般質問や委員会の開催に当たり、委員会条例等の在り方や運用方法、オンライン開催に対応した機器等の環境整備と導入コスト、運用面での課題と成果などを調査しました。

どのような場合にオンラインによる会議への参加を認めるかについては、看護や介護が必要な場合も含めて認めている墨田区議会の活用事例が参考になり、また、162回におよぶ取手市議会のオンラインによる各種会議の開催実績は、そこから見出された課題と解決方法が本市議会で議論を進める上で有効であると感じました。基本は対面で会議を行う意義を尊重しながら、会議の運用もハイブリッド方式を採用している点は、両議会とも同様であり、参考になりました。

詳しくは市議会ホームページの「視察報告」をご覧ください。



視察報告



墨田区議会

令和8年3月定例会の審議結果



議案



請願など

◆全議員が賛成した議案

条例	[新規制定] 市長の退職手当の特例に関する条例／みどり豊かな美しいまちづくり税条例 [一部改正] 住みよいまちづくり条例／福祉医療費の助成に関する条例 など11件 [廃止] 水洗便所改造等資金の助成に関する条例
予算	[令和8年度予算] 公共用地取得費特別会計予算 など7件 [令和7年度補正予算] 一般会計(第5号)／都市再開発事業特別会計(第1号) など8件
人事案件	固定資産評価審査委員会委員の選任
その他	財産の処分 など5件
議員提出案件	非核三原則の堅持を求める意見書

◆賛否の分かれた議案等

会派名	あしや政風会		公明党		至誠会		日本共産党 芦屋市議会 議員団		日本 維新の会		会派に 属さない 議員		議決結果		
	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	賛成	反対	棄権
条例	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する条例等の一部改正(第23号議案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	1	0
	特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定(第24号議案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	1	0
	介護保険条例の一部改正(第26号議案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	3	0
	国民健康保険条例の一部改正(第27号議案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	4	0
令和8年度予算	一般会計(第29号議案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	3	0
	国民健康保険事業特別会計(第30号議案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	4	0
	介護保険事業特別会計(第34号議案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	3	0
	後期高齢者医療事業特別会計(第35号議案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	4	0
議員提出議案	三条津知財産区共有財産会計(第37号議案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	3	0
	高額療養費制度の自己負担限度額の引上げの見直しを求める意見書(第15号議案)	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	8	10	0
	監査請求に関する決議(第16号議案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	1	0

※ [○] …賛成、[×] …反対、[-] …議長(議長は表決に参加しません。)

市議会議員の失職について

平野貞雄議員(日本共産党)は第51回衆議院議員総選挙に立候補されたため、公職選挙法第90条(立候補の届出により議員を辞したものとみなす)の規定により、令和8年1月27日付で市議会議員の職は自動失職となりました。これにより、当市議会は現員数19名となっています。

議会機能継続訓練を実施しました

令和8年2月5日に「議会機能継続計画(議会BCP)」に基づき、感染症の発生を想定した訓練を実施しました。今回の訓練では、定例会中に新型インフルエンザ等によるクラスター(集団感染)が発生し、消毒・清掃のために、議場が一時的に使用できなくなったという想定で行いました。

代替施設となる会議室では、臨時の本会議を開催し、議案説明から質疑応答・討論・採決に至るまでの一連の議事進行手順を検証したほか、音響システムが備わっていない場合に備え、ポータブルワイヤレスアンプの使用方法も確認しました。また、感染症対策を踏まえた避難所開設に関する動画を視聴し、最後に課題や改善点を話し合いました。

このような訓練を通して、感染症の流行といった不測の事態においても、市民の皆さまに安定した議会活動が提供できるよう、議会機能の継続性を高めるための取り組みを進めていきます。



議場ではなく大会議室で臨時の本会議を開催

議会基本条例の検証を行いました

本市議会では、「芦屋市議会基本条例」が適切に機能しているのかを確認するため、令和7年7月に議会基本条例検証会議(座長:副議長、委員:5名(各会派からの推選によるもの))を設置し、検証作業を行いました。検証では、議員の政治倫理、市民に対する情報の公開、政務活動費の執行、議員定数や議員報酬などについて、多角的な視点から現状の評価と課題の洗い出しを行いました。検証結果の詳細な内容については、市議会ホームページをご覧ください。

今回の検証作業の中で出された意見や課題の中には、①総括質問での会派に属さない議員の発言機会の付与、②3月定例会での一般質問の実施、③質問通告項目一覧表の中・小項目の公開、④オンラインでの常任委員会の実施、⑤議員ごとの政務活動費の公開など、今後、議会運営委員会などにおいて検討していく項目も含まれていますので、これからも、より市民に開かれ、信頼される議会を目指し、絶えず議会改革を進めていきます。



検証結果

可決した意見書・決議

今定例会で可決した意見書につきましては、地方自治法第99条の規定により、芦屋市議会からそれぞれの提出先に提出しています。

非核三原則の堅持を求める意見書

(議員提出議案第14号)

全員一致

【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣、防衛大臣

【内容】

国会および政府に対して、被爆地の思いと国民の平和への願いを真摯に受け止め、非核三原則を堅持し、「核兵器のない世界」の実現に向けて一層の努力をされるよう強く要請するもの

※本市議会では、昭和60年10月15日に「非核平和都市宣言」を決議しています。また、非核平和都市宣言30周年に当たる平成27年10月18日には、市が市役所北館前広場の花壇に宣言文の記念銘板を設置しています。



宣言文

監査請求に関する決議

(議員提出議案第16号)

賛成多数

【内容】

芦屋市が締結した「道路公園施設包括管理業務委託」の契約書の内容や委託料の振込先口座に関する取り扱いについて、議会で一定の課題が指摘されている。その後、契約書の修正や振込先口座の変更などが行われているが、この業務は多額の契約金額を伴っているため、契約事務や支払い手続が適正に行われているかを改めて客観的に確認することが望まれる。

また、本件を契機として、今後の契約事務および支払手続の適正性の確保のほか、再発防止に向けた内部管理体制の整備状況についても確認することは、市民の信頼を確保する観点から重要である。

よって、本件業務委託に係る事務執行の状況について監査を求め、その結果の報告を求めるもの

議会のナゼ? なに? 再発見!

議会クイズ 第54回

◆問題 【出題者】原なつ子委員

令和8年2月5日に実施した議会機能継続訓練は、どういったことを想定して行われた訓練だったのでしょうか?

- ①大規模な地震による庁舎の損壊
- ②新型インフルエンザ等の感染症によるクラスターの発生
- ③サイバー攻撃による議会システムの停止

◆前回のクイズの答え ※前回の応募件数は84件

「芦屋市議会では現在、2つのプロジェクトチームを立ち上げ、条例制定を目指して研究と議論を重ねています。次のうち、制定を目指している条例の正しい組み合わせはどれでしょうか?」の正解は「③子ども基本条例・議決事件に該当しない契約等の報告を求める条例」でした。

正解者の中から抽選で3名の方に図書カード(1,000円分)を差し上げます。正解は8月発行予定のあしや市議会だより137号で発表します。たくさんのご応募をお待ちしています。



議長・副議長による抽選会

◆応募方法

「専用フォーム」、「電子メール」、「はがき」にて、住所・氏名・年代・電話番号・クイズの答え・議会や本誌に対するご意見や感想を明記してご応募ください。

※メールで応募する場合、件名は「第54回議会クイズ応募」としてください。
※頂いたご意見は全て、本誌編集委員が目を通し、今後の誌面改善のための参考にさせていただきます。

◆応募締め切り

令和8年(2026年) 5月26日(火)まで
※当日消印有効

◆応募先

〒659-8501 芦屋市精道町7番6号
芦屋市役所 市議会事務局
メールアドレス: gijityousa@city.ashiya.lg.jp

※個人情報(賞品の発送以外)には使用しません。
※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。



専用フォーム

市議会ホームページで なにができる?

芦屋市議会



市議会だよりの電子版を読む

市議会だよりのPDF版を掲載しています。また、スマートフォンアプリ「マチイロ」も利用可能です。(アプリの利用方法も併せて市議会ホームページに掲載しています。)

会議の予定を調べる

本会議や委員会の開催予定、本会議での一般質問・総括質問の質問順や質問内容を掲載しています。

本会議・委員会の中継映像を見る

本会議・委員会の中継映像を配信しています。また、会議終了後、おおむね3日後から1年間は録画配信もしています。スマートフォンやタブレット端末でも閲覧が可能です。

過去の会議録を調べる

本会議や常任委員会等の会議録を調べたり、見たりできます。

政務活動費や議会交際費をチェックする

政務活動費の報告書や領収書、議会交際費の用途と金額を掲載しています。

議員の連絡先を調べる

議員の連絡先を掲載していますので、直接話がしたい場合などにご活用ください。また、所属委員会・会派・政党なども掲載しています。

議案書・委員会資料などを見る

審議に使用する議案書、請願書、審議結果、議員一人一人の賛否などを公開しています。また、委員会で使用する資料や、委員会に送付した陳情書も公開しています。

請願や陳情の提出方法を調べる

議会に対して請願や陳情を提出するための方法などを掲載しています。

6月定例会 日程(予定)

芦屋市議会では、本会議・委員会(議会運営委員会を除く)のインターネット映像配信を行っています。パソコン・スマートフォンなどでご覧ください。また、日程が変更になることがありますので、ホームページなどで確かめください。

月	火	水	木	金	土	日
6/1	2	3	4	5	6	7
			議会運営委員会	本会議(提案説明)		
8	9	10	11	12	13	14
建設公営企業常任委員会			民生文教常任委員会	総務常任委員会		
15	16	17	18	19	20	21
委員会(予備日)	議会運営委員会	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問等)		
22	23	24	25	26	27	28
委員会(予備日)						
29	30					
議会運営委員会	本会議(採決)					

●本会議・委員会の開始は、原則午前10時からです。

編集後記

3月議会では新年度予算案や議案について、活発に議論を重ねてきました。一方、世界情勢を見れば、戦争の悲惨さ、愚かさを感じない日はありません。こうした中で、二度とヒバクシャを生まないようにと、議会から「非核三原則の堅持を求める意見書」を全会一致で可決・提出できたことは大きな成果です。

【編集委員】川島 あゆみ

※5月18日に臨時会(本会議)を開催し、議会役員の選出などを行う予定です。